

# 一学年だより

No. 2  
令和8年 4月 17日  
太宰府市立太宰府西中学校  
文責：江崎 彰泰

## 授業が始まりました

### ～教科書を大切に使うということ～

本格的に授業が始まりました。中学校では、教科が増えたり、教科ごとに先生が変わったり…、小学校と違うことがたくさんあります。早く中学校の授業に慣れて、新しい仲間、新しい先生たちと一緒に日々の授業に集中して取り組みましょう。

誰もが、得意なこと不得意なこと、できることできないことのデコボコがあるものです。ですから、できないこと、わからないことは悪いことではありません。でも、わからないことをそのままにしておくことはよくないことだと思います。

「日々の授業に一生懸命に取り組む」当たり前のことなのですが、このことを最も大事にしていきたいと思っています。「得意」や「苦手」にかかわらず、「できる」「できない」にかかわらず、一人一人が自分の力を出し切る授業をみんなでつくっていきましょう。

そして、勉強を通して「努力する力」「工夫する力」「続ける力」「耐える力」「想像する力」を伸ばしていきましょう。



ここで、授業を担当する先生方を紹介します。

	1組	2組	3組	4組	5組
国語(4)	山下		太田		
数学(4)	江崎		坂井		江崎
社会(3)	山口				
理科(3)	長濱	早淵		長濱	
英語(4)	谷口	井上		谷口	
音楽(1.5)	洲				
美術(1.5)	大石				
保体(3)男	篠原		篠原		
女	松原		穴井		
技術(前2)	山本信				
家庭(後2)	矢幡				

※前期は技術、後期は家庭です。( )内の数は1週間の時間数です。

※前期のみ、音楽と美術は1週間ごとに2時間授業になります。

「得意」や「苦手」にかかわらず、「できる」や「できない」にかかわらず、一人一人が自分の力を出し切り、自分の力を伸ばす！！

## 教科書無償について

みなさんは小学校1年生から、毎年新品の教科書が無償でもらっています。

一人あたりの教科書の値段は中学校3年間で、およそ15,000円にもなります。小学校もあわせると…。

最近では、教科書はその教育を受ける人に負担させるべきだという話もあります。自分で買わないから大事にしないのだと…。みなさんはどう思いますか？

義務教育の間、教科書が無償で与えられるのは当たり前のことです。しかし、それは決して初めからそうだったのではなく、多くの人たちの苦労や願いがあって、時間をかけて実現したものだということを忘れてはなりません。ですから、そんなたくさんの人々の願いを引き継いで、先生たちもみなさんも教科書は大切にしなければならないと思うのです。

そして何よりも大切なことは、「権利」として勝ち取られた『教科書の無償化』を無駄にしないようにその教科書を大切に扱い（落書きしたり、破ったりせず、友達に借りたり貸したりしない）、教科書を使って一生懸命勉強することではないかと思うのです。



本がうれしい  
高知県小六リつ子

センセイ 本のおい いいなあ  
センセイ 内子の手さげ  
六さつも入っはっていて 重いんよ  
重い手さげ いいなあ

センセイ おしたから  
学校行くけど うれしいんよ  
本が来たから 学校行ける  
今夜 眠れんかもしれへん

センセイ けど ずっと学校行って  
ないもん 心配なんよ  
ヤスちゃんも トモ子ちゃんも  
仲良なうしてくれるやるか

けれど センセイ  
本があつて 学校行けるの嬉しい  
手さげが 本で重い  
……ほんとにうれしい

この詩は、はじめて教科書が無償で配付された時(1964年)に、リつ子ちゃんという小学生が書いたものです。「重い手さげ いいなあ」「今夜 眠れんかもしれへん」という喜びを想像してみてください。

### 保護者のみなさまへ

入学式で配付いたしましたたくさんの書類の提出にご協力いただき、ありがとうございました。子どもたちは中学校生活に少しずつ慣れはじめ、緊張感も和らいてきたところです。いよいよ、本格的に教科の授業が始まりました。勉強道具の忘れ物をせず、授業と生活ノートの学習を大切にしよう、ご家庭でのお声かけをよろしくお願ひします。持ち物すべてへの記名もお願ひします。

また、24日(金)には、授業参観と学年PTA総会を予定しておりますので、ご参加のほど重ねてお願ひいたします。

ご不明な点やご心配なことがありましたら、遠慮なく担任にご連絡ください。